
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第19号

2010/11/10配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成22年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 11/03～11/10までの更新情報 -----

●お知らせ

【2010/10/01】

- ・ ○アンケート CHRIP利用実態調査にご協力をお願いします。

→ <http://www.mizuho-ir.co.jp/topics/chrip2010.html>

NITE 化学物質管理センターが運営する化学物質に関するデータベース「化学物質総合検索システム(CHRIP)」の掲載情報の充実や効果的な運用方法を検討するため、CHRIPを利用している皆様を対象に、掲載されている情報の利用頻度やご意見をお聞きするアンケートを実施しています。ご多忙中誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は、利用者個人への調査であり、会社等の組織のお考えを戴くものではございません。また、個人情報をお聞きすることはございません。

回答方法:上記URLからインターネット方式で回答

実施期間:11月12日(金)まで(期間を延長しました)

回答所要時間:約10分

本アンケートは、NITEよりみずほ情報総研(株)に委託して実施しています。

アンケートに関するお問い合わせは、下記連絡先へお願いいたします。

みずほ情報総研株式会社

E-mail:chrip@mizuho-ir.co.jp 電話:03-5281-5491

- 「化学物質のリスク評価セミナー ―化学物質のこれからを知る―」の開催のお知らせ

→ http://www.jswe.or.jp/calendar/2010/1217_01.html#101025_01

12月17日に当センターと日本水環境学会の主催で、本セミナーを開催します。化審法と化管法の制度説明、PRTRデータのリスク評価への活用、化審法の届出情報を利用するリスク評価についての解説が行われる予定です。ご登録及び詳細は、リンク先ホームページをご覧ください。

●官報情報

【2010/11/09】

- ・厚生労働省告示「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件(厚生労働三八一)」

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20101109/20101109h05433/20101109h054330003f.html>

食品衛生法(昭和二十二年法律第二百三十三号)第十一条第一項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準(昭和三十四年厚生省告示第三百七十号)の一部が改正された。

●厚生労働省

【2010/11/05】

- ・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会報告

- ・クロルフェナピル

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-229.pdf>

- ・シフルメトフェン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-231.pdf>

- ・パクロブトラゾール

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-232.pdf>

- ・ビフェントリン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-233.pdf>

- ・フルフェンピルエチル

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-234.pdf>

- ・プロピリスルフロン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-235.pdf>

- ・プロポキシカルバゾン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-236.pdf>

- ・メトキシフェノジド

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-237.pdf>

食品衛生法(昭和22年法律第233号)第11条第1項の規定に基づく8農薬に係る食品規格(食品中の農薬の残留基準)の設定について、審議結果が掲載された。

【2010/11/08】

- ・化粧品の新テクノロジーに関するICCRアドホックワーキンググループの報告:基準及び特性解析方法
- <http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/keshouhin/dl/keshouhin-e.pdf>

7月14日にカナダのトロントで開催された第4回化粧品規制協力国際会議(ICCR)における新テクノロジーのアドホックワーキンググループの報告書が公開された。本報告書は、化粧品に利用されている特定の物質が、配慮すべきナノ材料かどうかを判断する際のガイダンスとなることを意図したもの。なお、内容については、未だ厚生労働省、カナダ厚生省、ヨーロッパ委員会及び米国食品医薬品庁の間で合意されているものではない。

【2010/11/09】

- ・「食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の一部改正(食品中の農薬の残留基準設定)」に関する意見・情報の募集について寄せられた御意見について

- ・ペントキサゾン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100088&Mode=2>

- ・ルフエヌロン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100091&Mode=2>

- ・1-メチルシクロプロペン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100089&Mode=2>

- ・クロフェンセット

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100080&Mode=2>

- ・スピロメシフェン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100084&Mode=2>

- ・プロパモカルブ

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100087&Mode=2>

- ・プロチオコナゾール

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100095&Mode=2>

- ・クロメプロップ

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100081&Mode=2>

- ・アジムスルフロン

- <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100078&Mode=2>
・シフルフェナミド
- <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100083&Mode=2>
・ピリミスルファン
- <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100086&Mode=2>
・ピリプロキシフェン
- <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100085&Mode=2>

6月9日から7月8日まで行われた標記の意見募集の結果が掲載された。

●環境省

【2010/11/04】

- ・中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会(第23回)の開催について(お知らせ)
- <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13098>

11月19日に標記会合が開催される。議題は、

- (1)水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として環境大臣の定める基準の設定について
 - (2)水質汚濁に係る農薬登録保留基準として環境大臣の定める基準の設定について
- など。

【2010/11/08】

- ・第12回 化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英共同研究ワークショップの結果について
- <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13115>

11月3日から4日まで、標記会合が英国ノーザンバーランドで開催され、両国の研究担当者により、現在研究を推進している4つの枠組み(コアプロジェクト)について成果発表及び意見交換が行われたほか、今後の具体的研究について検討が行われた。

【2010/11/08】

- ・EXTEND2010に基づく平成22年度第1回化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会の開催について(お知らせ)
- <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13114>

11月19日に標記会合が開催される。議題は、

- (1) 今後の取組体制について
 - (2) 野生生物の生物学的知見研究及び基盤的研究について
 - (3) 作用・影響評価について
 - (4) 国際協力について
- など。

●内閣府食品安全委員会

【2010/11/05】

- ・食品安全委員会添加物専門調査会(第90回)の開催について

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/tenkabutu_annai90.html

11月12日に標記会合が開催される。議題は、

- (1) trans-2-ペンテナールに係る食品健康影響評価について
 - (2) イソキノリンに係る食品健康影響評価について
- など。

●産業技術総合研究所

【2010/11/02】

- ・「AIST-SHANEL(産総研-水系暴露解析モデル)」のソフトウェアが公開されました。

→ <http://www.aist-riss.jp/projects/AIST-SHANEL/#g>

「化学物質の最適管理をめざすリスクトレードオフ解析手法の開発」の一環として、日本における河川流域の化学物質の暴露評価と対策評価のためのモデル(AIST-SHANEL Ver. 2.0)が開発・公開された。本ツールにより、河川流量の推定、化学物質の排出量の推計、化学物質の河川水中濃度の推定が可能となる。

●国立医薬品食品衛生研究所

【2010/11/04】

- ・食品安全情報(化学物質) No. 23 (2010. 11. 04)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2010/foodinfo201023c.html>

食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報を紹介する「食品安全情報(化学物質) No. 23 (2010. 11. 04)」が掲載された。食品化

学物質関連情報として欧米の研究機関による報告等が紹介されている。

●欧州化学品庁 (ECHA)

【2010/11/02】

- News Alert: QSAR Toolbox version 2.0 released
- http://echa.europa.eu/news/na/201011/na_10_64_qsar_toolbox_en.asp

ECHAは、QSARツールボックス (version 2.0) をOECDと共同開発し、無料公開した。

【2010/11/05】

- News Alert: Avoid blocking your REACH-IT account
- http://echa.europa.eu/news/na/201011/na_10_65_blocked_reachit_accounts_20101105_en.asp

ECHAは、REACH-ITにおけるアカウントのブロッキングの回避方法に関するファクトシートを公開した。

【2010/11/08】

- News Alert: REACH-IT is accessible also during weekends
- http://echa.europa.eu/news/na/201011/na_10_67_reachit_weekends_20101108_en.asp

ECHAは、事業者のREACH登録書類提出をスムーズにするため、11月19日から11月30日までの週末も、REACH-ITシステムを利用可能にする。

●US EPA

【2010/11/04】

- EPA Denies Petition that Sought a Ban on Lead in Fishing Gear

→

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/d0cf6618525a9efb85257359003fb69d/15ff49b5b1e0c2f2852577d1004c79bc!OpenDocument>

米国EPAは、釣具への鉛の使用を禁止する請願を棄却した。その理由は、

- (1) 申請者らは、有害物質規制法 (TSCA) が定めるところの健康および環境への不当なリスクに対する規制の必要性を示さなかったため。
- (2) 地方自治体レベルで既に鉛の使用禁止や自粛が進んでおり、全国規模

での使用禁止規則をさらに作ることが効率の良い適切な方法であるとは言えない状況にあるため。

●GHS-NET

【2010/11/04】

・[ケミラウンジ] 新たに投稿がありました

→ <http://www.ghs-net.jp/>

▼[ケミラウンジ] 下記の回答が投稿されました。

・引火点の計算式(11/4)

ぜひご覧いただき、意見・情報を投稿下さい。

※ケミラウンジへの投稿は、GHS-NET会員限定です。

ログインしてご利用下さい。

会員登録されていない方は、ぜひ登録(無料)をお願い致します。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

●【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

●配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

●配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

●ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする
場合に限り、自由に行って頂いて構いません。

・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで
お問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

・記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境・資源エネルギー部 環境リスクチーム